

様式 C - 2 6

「繰越（翌債）を必要とする理由書」

【記載例】

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 11111 研究機関名：××××大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 若手研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度～23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○実験の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 実験結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○実験の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ○○実験の再実施 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 実験結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年9月までに、 ○○実験を実施し、 平成24年3月までに、 実験結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①エ 計画に関する諸条件（計画の変更） （その他の場合の事由： ）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) *必要な場合
繰越事由の発生した時期 平成23年9月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		調査・実験等のやり直し・再検討	

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 21111 研究機関名：△△県立××××大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度～23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 △△調査の実施 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 調査結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年9月までに、 ○○調査を実施し、 平成24年3月までに、 調査結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（新たな知見の発見） （その他の場合の事由： ）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) *必要な場合
繰越事由の発生した時期 平成23年9月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		追加調査・実験等	

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 31111 研究機関名：△△△△大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<p><当初計画></p> <p>H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ</p>	<p><変更後の計画></p> <p>H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 調査結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3</p>	<p>(研究概要)</p> <p>※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。</p> <p>平成23年9月までに、 ○○調査を実施し、 平成24年3月までに、 調査結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う 予定であった。</p>	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（新たな知見の発見） (その他の場合の事由：)	
		<p>【変更後の計画の類型】</p> <p>調査・実験等の期間延長</p>	<p>(補足説明) *必要な場合 ○○調査実施中の平成23年9月に△△の可能性が見出されたことから、より詳細な調査を実施する必要が生じた。</p>
繰越事由の発生した時期 平成23年9月	補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）		

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 41111 研究機関名：××××短期大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<p><当初計画></p> <p>H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ</p>	<p><変更後の計画></p> <p>H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ○○調査の再実施 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 調査結果の分析 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 研究成果取りまとめ H24.6 H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3</p>	<p>(研究概要)</p> <p>※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。</p> <p>平成23年9月までに、 ○○調査を実施し、 平成24年3月までに、 調査結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う 予定であった。</p>	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（研究協力者の確保難） (その他の場合の事由：)	
		<p>【変更後の計画の類型】</p> <p>調査・実験等のやり直し・再検討</p>	<p>(補足説明) *必要な場合 ○○調査の実施のために予定していた研究協力者だけでは不十分であることが判明し、再度、代替者を確保する必要が生じたため。</p>
繰越事由の発生した時期 平成23年8月	補助事業の完了時期 平成24年5月末（2ヶ月延長）		

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 51111 研究機関名：××××高等専門学校 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 調査結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年9月までに、 ○○調査を実施し、 平成24年3月までに、 調査結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う 予定であった。	
繰越事由の発生した時期 平成23年8月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（その他） （その他の場合の事由： 研究協力者の事情）	
		【変更後の計画の類型】 調査・実験等の期間延長	(補足説明) *必要な場合 ○○調査の実施のために必要な研究協力者の都合により、一部調査が遅延した。

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 61111 研究機関名：××××××××研究所 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備・日程調整 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備・日程調整 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 日程再調整 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ○○調査の実施 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 調査結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年9月までに、 ○○調査を実施し、 平成24年3月までに、 調査結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う 予定であった。	
繰越事由の発生した時期 平成23年6月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（その他） （その他の場合の事由： 研究協力機関の事情）	
		【変更後の計画の類型】 調査時期等の延期・変更	(補足説明) *必要な場合 ○○調査を実施する研究協力機関の都合により、再度日程調整を行い、10月から調査を実施することとなった。

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 71111 研究機関名：××××××××研究所 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度～23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 学会発表・研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 H24.4 H24.5 H24.6 学会発表・研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年2月までに、 ○○調査を実施し、調査結果の分析を行い、 平成24年3月までに、 研究成果取りまとめを行う 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（その他） （その他の場合の事由： 学会の事情）	
		【変更後の計画の類型】 調査時期等の延期・変更	（補足説明）*必要な場合 平成24年2月に開催予定であった学会の開催が6月に延期された。
繰越事由の発生した時期 平成24年2月	補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）		

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 81111 研究機関名：独立行政法人××××××××研究所 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度～23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 仕様検討 H23.5 ↓ H23.6 ○○装置の試作 H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 試作装置の性能評価 H23.10 ↓ H23.11 実機とデータ処理回路の開発 H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 仕様検討 H23.5 ↓ H23.6 ○○装置の試作 H23.7 ↓ H23.8 ○○装置の仕様再検討・試作 H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 試作装置の性能評価 H23.12 ↓ H24.1 実機とデータ処理回路の開発 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 研究成果取りまとめ H24.6 H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年8月までに、 ○○装置の試作を行い、 平成24年3月までに、 性能評価の上、実機とデータ処理回路を開発し、研究成果を取りまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（装置の開発遅延） （その他の場合の事由：）	
		【変更後の計画の類型】 調査・実験等のやり直し・再検討	（補足説明）*必要な場合 ○○装置の試作を行ったところ、当初の予測に反して必要なデータを得られないことが判明したため。
繰越事由の発生した時期 平成23年7月	補助事業の完了時期 平成24年5月末（2ヶ月延長）		

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 91111 研究機関名：××××××××研究所 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度～23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 本実験 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 本実験 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年8月までに、事前準備を行い、平成24年3月までに、本実験を行って、研究成果を取りまとめる予定であった。	
繰越事由の発生した時期 平成23年7月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（機器の故障） (その他の場合の事由：)	
		【変更後の計画の類型】 調査・実験等の期間延長	(補足説明) *必要な場合 平成23年7月、○○装置が故障し、修理を行うため、事前準備が延長した。

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 12111 研究機関名：△△△△大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度～23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○調査の実施 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 調査結果の分析 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 H23.8 H23.9 H23.10 ○○調査の実施 H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 調査結果の分析 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年9月までに、○○調査を実施し、平成24年3月までに、調査結果の分析を行い、研究成果取りまとめを行う予定であった。	
繰越事由の発生した時期 平成23年6月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（その他） (その他の場合の事由： 怪我・病気)	
		【変更後の計画の類型】 中断	(補足説明) *必要な場合 研究代表者（又は研究分担者）が、平成23年6月に交通事故に遭い、入院していたため。

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 32111 研究機関名：×××××××大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備（○○マウスの確保） H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 実験準備 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 本実験の実施 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備（○○マウスの確保） H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 一部マウスの再確保 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 実験準備 H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 本実験の実施 H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 研究成果取りまとめ H24.6 H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年8月までに、 ○○マウスの確保等の事前準備を行い、 平成24年3月までに、 本実験を実施し、研究成果を取りまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ⑥オ 資材の入手難（マウス等実験動物の入手難） （その他の場合の事由： ）	
		【変更後の計画の類型】 調査・実験等のやり直し・再検討	(補足説明) *必要な場合 実験に使用するマウスの一部が感染事故にあり、実験に必要な数量を確保するために遅延が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成23年7月	補助事業の完了時期 平成24年5月末（2ヶ月延長）		

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 52111 研究機関名：×××××××高等専門学校 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 衛星データ同化手法の開発 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 予備実験の実施 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 衛星観測システムの整備 H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 衛星データ同化手法の開発 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 予備実験の実施 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 ↓ H24.1 衛星観測システムの整備 H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 研究成果取りまとめ H24.6 H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年2月までに、 衛星観測システムの整備を行い、 平成24年3月までに、 研究成果を取りまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ⑥オ 資材の入手難（資材及び資料の入手難） （その他の場合の事由： ）	
		【変更後の計画の類型】 調査・実験等の期間延長	(補足説明) *必要な場合 衛星観測装置の整備に必要なデータ資料が、提供者の都合により遅延したため。
繰越事由の発生した時期 平成24年2月	補助事業の完了時期 平成24年5月末（2ヶ月延長）		

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 82111 研究機関名：独立行政法人××××××××研究所 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ○○での現地調査 H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 調査結果の検討 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 ○○での現地調査 H23.12 ↓ H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 調査結果の検討 H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年8月までに、 ○○で現地調査を行い、 平成24年3月までに、 調査結果を検討して、研究成果を取りまとめる 予定であった。	
繰越事由の発生した時期 平成23年7月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		事 由	
		記号等 ⑦ア 研究に際しての事前調査の困難 (その他の場合の事由：)	
		【変更後の計画の種類】	(補足説明) *必要な場合
		調査・実験等の期間延長	

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 33111 研究機関名：×××××大学 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ○○実験手法の検討 H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 ○○実験の実施 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 調査結果の検討 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ	<変更後の計画> H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ○○実験手法の検討 H23.7 ↓ H23.8 ↓ H23.9 ○○実験手法の再検討 H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 ○○実験の実施 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 調査結果の検討 H24.4 ↓ H24.5 ↓ H24.6 研究成果取りまとめ H24.7 H24.8 H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成23年8月までに、 ○○実験手法を検討し、 平成24年3月までに、 調査結果を検討して、研究成果を取りまとめる 予定であった。	
繰越事由の発生した時期 平成23年8月		補助事業の完了時期 平成24年6月末（3ヶ月延長）	
		事 由	
		記号等 ⑦イ 研究方式の決定の困難 (その他の場合の事由：)	
		【変更後の計画の種類】	(補足説明) *必要な場合
		追加調査・実験等	

様式 C-26 【記載例】

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 81111 研究機関名：××××××××研究所 研究代表者名：文科 花子
 課題番号： 22101417 繰越（翌債）承認要求額： 130,000 円（内訳：直接経費 100,000 円・間接経費 30,000 円）
 研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 22 年度 ～ 23 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<p><当初計画></p> <p>H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○での現地調査 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 ↓ H23.11 ↓ H23.12 調査結果の検討 H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 研究成果取りまとめ</p>	<p><変更後の計画></p> <p>H23.4 事前準備 H23.5 ↓ H23.6 ↓ H23.7 ○○での現地調査 H23.8 ↓ H23.9 ↓ H23.10 日程等の再調整 H23.11 ↓ H23.12 ○○での現地調査（再調査） H24.1 ↓ H24.2 ↓ H24.3 ↓ H24.4 ↓ H24.5 調査結果の検討 H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 研究成果取りまとめ H24.9 H24.10 H24.11 H24.12 H25.1 H25.2 H25.3</p>	<p>(研究概要)</p> <p>※<当初計画>に即して、最終的に平成24年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。</p> <p>平成23年11月までに、 ○○での現地調査を行い、 平成24年3月までに、 調査結果を検討して、研究成果を取りまとめる 予定であった。</p>	
		事 由	
		記号等 ③ア 気象の関係（豪雨） (その他の場合の事由：)	
		<p>【変更後の計画の種類】</p> <p>調査・実験等のやり直し・再検討</p>	<p>(補足説明) *必要な場合 平成23年10月に○○地方で発生した豪雨の影響により、再度調査日程を調整して実施する必要が生じた。</p>
繰越事由の発生した時期 平成23年10月	補助事業の完了時期 平成24年8月末（5ヶ月延長）		